



白河地区連合ニュース

発行所／県南地域連合会 発行人／根本 茂 福島県白河市新白河1丁目53 TEL0248-22-1500 fax0248-23-1144

『小熊 慎司氏・三村ひろたか県会議員 加盟組織訪問』

「おくま慎司」氏は、これまでの国政での取り組みを改めて振り返りつつ、地域の皆さまの声をより一層受け止めるべく、再出発に向けた活動を開始いたしました。これまでの温かいご支援に深く感謝申し上げるとともに、今後の活動に向けて、県南地域での組織訪問を実施しました。さらに、地域との対話を重ねながら、現場の課題や声を丁寧に把握する取り組みを強化していく方針です。こうした活動には、県会議員の三村ひろたか氏も同行し、地域の状況や課題について共に確認しながら、関係者との意見交換を行っています。両氏は、現場で寄せられる声を共有しつつ、地域の実情を多角的に把握するための連携を深め、今後の活動に生かしていく考えです。加えて、地域が抱える産業・福祉・教育など幅広い分野の課題についても、現場での聞き取りを通じて理解を深めることを重視しており、訪問先では地域団体や事業者、自治体関係者との意見交換の機会を積極的に設けています。こうした取り組みを通じて、地域の現状をより立体的に捉え、今後の活動の方向性を検討するための基礎となる情報収集を進めていく方針です。また、地域の皆さまとの対話を継続的に行うことで、現場の声を丁寧に受け止める姿勢を一層強め、県内各地とのつながりを深めながら活動を展開していく考えを示しています。

最後に、今回加盟組織すべてを訪問することは日程上叶いませんでしたが、各組織より寄せられたご理解とご協力に深く感謝申し上げます。今後も、皆さまとの連携を大切にしながら、県南地域の声に寄り添った活動を続けてまいります。



パナソニックオートモーティブシステムズ労組横浜支部



日本精工労組福島支部



アズビル金門エナジープロダクツ白河労組



泉崎職員労組



アネスト岩田労組福島支部



林野労組白河支署分会

～被爆81年～ 連合2026平和ヒロシマ集会



「被爆81年 連合2026平和ヒロシマ集会」には、全国各地から1,739名の代表団が参加し、連合福島からは10名（県南地域からは、藤田議長・深谷副議長・根本事務局長 3名）が参加しました。集会では核兵器廃絶や恒久平和の実現に向けた訴え、被爆体験者による証言、高校生平和大使によるメッセージなどが発表されました。また、時刻には原爆ドーム前で「連合・原爆死没者慰霊式」も行われました。



参加者の皆様



芳賀団長の献水



芳野友子 連合会長のあいさつ

核兵器廃絶と平和を求める福島県民集会

2026年8月22日（土）福島市「ラコパふくしま」にて、～被爆81年～核兵器廃絶と平和を求める福島県民集会が開催され各加盟組織・団体から160名の参加がありました。

講演

演題：『被爆81年 ヒロシマの心』

講師：広島県原爆被害者団体協議会・被爆を語り継ぐ会

田中 聰司（たなか さとし）氏

今年、私たちは戦後そして被爆から80年を超える年月を迎えています。長い歳月が流れた今なお、戦争がもたらした深い傷跡と、核兵器の脅威が人類にもたらす悲劇を決して忘れてはなりません。本日の講演では、平和の尊さと、過去の教訓を未来へつなぐことの重要性が改めて語られました。その思いを受け、連合福島青年女性委員会 月井 悟 事務局次長は「2026 ふくしまからの平和アピール（案）」を読み上げ、参加者一同の賛同のもと採択されました。私たちは、福島から平和の願いを力強く発信し続け、次の



感想・意見を述べる日本精工
労組福島支部 金沢書記長



原爆パネル展